

中小企業大学校サテライト・ゼミ
with あきた企業活性化センター

生産現場の 改善入門講座

2021年10月20日～22日、秋田県教育
会館を会場に「生産現場の改善入門講
座」が開催された。

講師に中小企業大学校仙台校のアド
バイザーである佐藤勝幸氏を迎え、参加
者9名が計3日間の講座を通して生産現
場の改善手法の基礎を学んだ。



同講座は、製造部門・生産管理部門の管理・監督者、リーダーを対象として開催。講師は始めに「現場改善を支えるのはコミュニケーション力。活発な意見交換で伝える力や聞く力を高め、他社の取り組みを知ることによって新しい発見を得てほしい」と話し、グループワークやディスカッションを多く取り入れ講座を進めた。

初日は現場改善の意義と目的をテーマに進められ、参加者は利益を生む考え方やコスト構造について学ん

だ後、現場改善の目的について話し合った。2日目は改善の手順や作業上のムダを発見する着眼点等について学び、より具体的な知識を共有。最終日の演習では、グループに分かれ、ブロック玩具のパーツを用いて自動車の組み立て作業を行い、参加者は効率的な製造ラインとなるようアイデアを出し合った。終わりに講師は「市場や社会、職場の変化に応じて常に見直しを行い、より良い企業となることを期待している」と締めくくった。

講師

R・Cコンサルティングオフィス
代表 佐藤 勝幸氏
さとう かつゆき



建設コンサルタントとして約30年間、地域づくりに関わる事業に従事し、食品加工、流通、農商工連携事業の事業化等に取り組む。2019年独立。食品加工業、サービス業等を対象に現場力向上や事業構築等、実践的支援を中心に活動。中小企業診断士。東北工業大学非常勤講師。

日本の人口は、2010年をピークに減少に転じています。労働人口の減少や高齢化、市場の縮小・分散等、社会環境が変化していくことを考慮すると、現場でやらなければならないことはこれまで以上に増えていく可能性が高いでしょう。その問題に対処するためには、現場改善の仕組みを知り、実践していくことが不可欠です。生産現場が勢いづき製造力を上げることができれば、それが地域を支え、秋田を強くすることに繋がり、何より現場で働く従業員のためになっていきます。今回の講座で学んだこと、気づき考えたことを是非現場に落とし込み、改善に繋げていただきたいと思います。

参加者の声



株式会社品川合成製作所
生産管理課 生産管理係 主任
加藤 杏子氏
かとう きょうこ

当社では、コネクタや空圧機器部品を主力製品として生産しております。以前から現場改善の知識と管理技術を習得し、現場と一体となって改善を進めたいという思いがあり参加しました。講座では、IE活用による工程分析や見える化、知識・情報の共有が重要であることを実感し、現場改善での視点の置き方を学ぶことができました。ブロックを使っての演習では、他社の参加者様との共同作業の中で平準化や動作改善を実践することで、より深い知識が身についたと感じます。佐藤先生のお話は分かりやすく、自社の状況や課題と照らし合わせながら考えることができました。心理的安全性・リーダーの役割についての知識も深まり、人間力も身につく講座であったと思います。